

(様式3)

事業所名 グループホーム下瀬

目標達成計画

作成日: 令和 3年 12月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	防災対策マニュアルが作成中となっている。	防災対策マニュアルを完成させて職員に周知する。	防災対策マニュアルの読み合わせを会議で行い全職員が理解する。	2ヶ月
2	2	事業所と地域とのつながりができていない。	地域との交流を深め行事等に参加していただき、利用者様が参加できるようにする。	グループホームの事をまず理解していただけるよう区の会議等参加させていただき説明させていただく。区長様、消防団長様には今後の活動の目標について説明を行えている。	2ヶ月
3	51	家族とのやり取りが少なく、不安に思われているご家族がいる。	家族に手紙を送り、利用者様の近況を伝える。	2ヶ月に1度、利用者様の身体状況、写真、手紙を送り、ご家族様に様子をお伝えする。	1ヶ月
4	48	ひとりひとりにあった役割や楽しみ事の不足。	ひとりひとりにあった役割を日常生活の中で見つけてもらい、生活に張りを出す。	掃除や洗濯といった家事の役割を固定せず、様々な利用者様に関わっていただく。	2ヶ月
5	28	現有サービスの中での対応になっている。	柔軟な支援やサービスの多機能化を理解する。	外部資源がどのようなものか、どのように利用していくかを全体会議等で話し合い、職員全員で理解できるようにする。	2ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成してください。